



令和8年度 芦ヶ崎小学校 学校経営方針

校長 渡邊 進

【教育目標】 やさしく かしく たくましく

- 【目指す子どもの姿】
- 目的達成に向け、多様な人と力を合わせる子
 - 自ら課題を見付け、考えぬく子
 - 健康な心と体を持ち、粘り強くやりぬく子



芦ヶ崎小ラストイヤーの合言葉 「**つなぐ・つながる、つづける**」

◎ 特別な1年になる。が、特別でない普通の日々を質の高いものに。

1 つなぐ・つながる

(1) 子ども

- 芦小で学び、経験し、身に付けたこと、芦っ子らしさを、統合後や進学後につなぐ。
※ 例：龍神太鼓 = 津南小で続けられるかどうかは不明。だが、誇りをもって取り組んできた心意気は、未来につながる。
- 意見や考えを多様な方法や場面で交流し合い、互いのよさや多様な価値観を知る。
→ コミュニケーション力の強化。※ 発言・発表だけに限らない。ICTの活用も。
→ 自ら進める学び → インクルーシブ教育
- 統合や進学を意識し、上郷小や津南小の仲間、保育園や中学生と自ら進んでつながる。
- 芦ヶ崎地域の人や自然、文化、ジオパークと積極的につながる。
- 日常的に異学年で積極的に交流する。(隣接学年だけでなく。)
(学校行事、児童会活動、給食、清掃、登下校、休み時間など。)



(2) 教職員

- すべての教職員が、全校のすべての子どもについて情報共有・連携を密にし、よさを伸ばす姿勢でかかわる。

2 つづける

(1) 子ども

- 読む力を高めるための漢字学習、読書に継続的・重点的に取り組む。
→ 漢字学習：ICTを活用しての早期習熟、漢字辞典の活用
→ 読書：読書の時間の確実な位置付け・実践、教職員も一緒に読書する場面の設定
- 自分の力に合った学習の仕方や体力づくりの仕方を考え、続ける。
- ICTを日常的に使いこなす。(活用するのは当たり前。)
- 「あいさつ」「早寝・早起き・朝ごはん」「メディアコントロール」の取組を、年間を通じて続ける。



(2) 教職員

- 一人ひとりの子どものよさを見付け、伸ばす指導に年間を通じて取り組む。
- 統合にかかわる取組、閉校に伴う作業を、年間の見通しをもって継続的に進める。